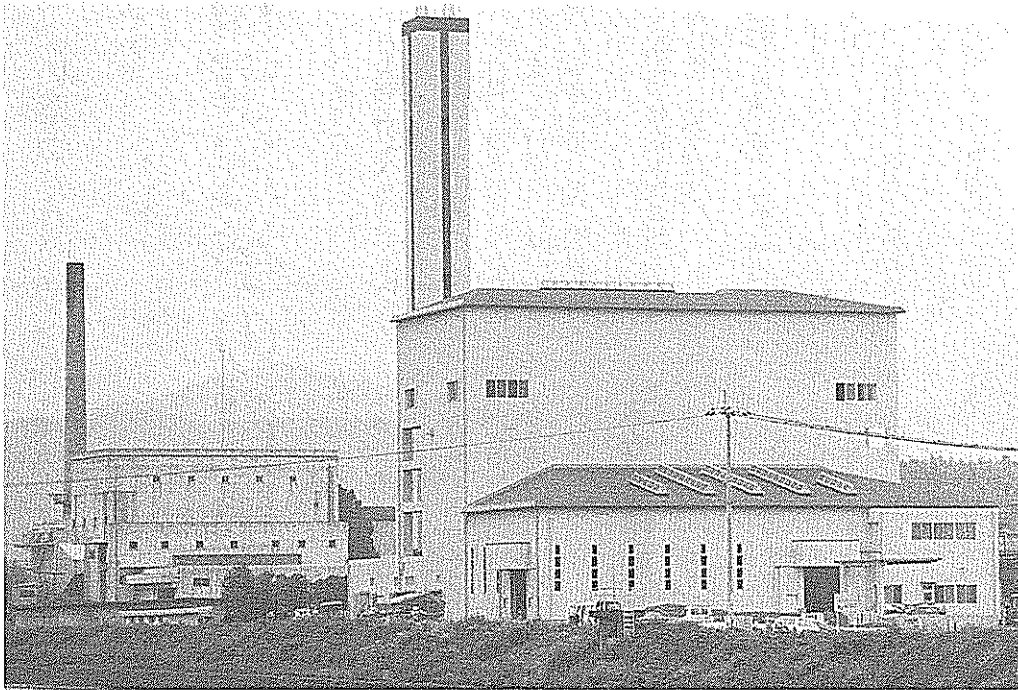


公害対策に細心の注意

香南清掃組合・新ごみ焼却施設完成



平成元年より廿枝の旧施設隣に建設が進められていた香南清掃組合の新ごみ焼却施設がこのほど完成。十月五日に落成式が行われました。

処理能力

2倍に

完成したごみ焼却施設は、前施設の老朽化に伴い、厚生年金・国民年金積立金還元融資を受けて隣接する土地に建設されたもので、鉄筋鉄骨造り、延べ床面積四、一五九平方メートル、煙突の高さは五九メートル。工事費は約四十二億円です。

新施設には処理能力一日八〇トの焼却炉が二炉。一日当たり最大一六〇トの処理能力は、これまでの施設の二倍の能力です。今のところ一日当たりのごみ搬入量は六〇トで一炉で処理していますが今後のごみ量の増加にも十分対応できるようにしています。

最新設備で

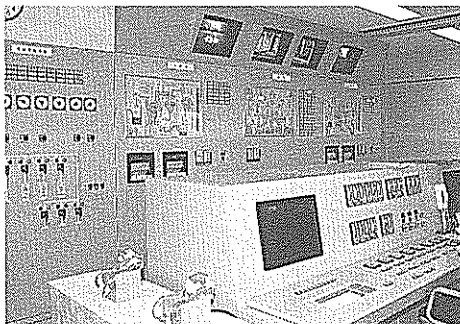
公害防止

焼却施設の各部は中央制御室で集中管理されており、まず、運ばれたごみは自動的にかきまぜられ焼却炉に送られます。焼却炉では乾燥・燃焼・後燃焼と三段階の火格子で、

ごみを完全に燃焼させます。

また、新焼却施設は地域住民の健康を第一に考え、二次公害に細心の注意を払っています。焼却段階で生じた排ガスは有害ガス除去装置、電気集じん器で浄化。特にダイオキシンの発生には注意が払われ、八百度以上の高温で焼却するなどの措置が取られています。汚水や臭気についても焼却施設内で完全に処理されます。

このほか施設内の暖房等には余熱が利用されるなど、新ごみ焼却施設は公害防止機器を備えた最新の施設になっています。



中央制御室